

僕たち、私たちのミニトマト

J Aしずない青年部食育出前授業を開催

J Aしずない青年部（部長 福岡駿弥さん）は5月から6月にかけて町内の各小学校にてしずない産ミニトマト「太陽の瞳」と同じ品種を使用した定植体験授業を開催しました。

この活動は食育事業の一環として7年目を迎え、今まで行ってきた食育の評判を聞き、今年から食育授業を行ってほしいと要望のあった静内小学校を新たに加え、全4か所の小学校からの開催要望により、実施されました。子どもたちには部員の指導のもと、実際にシャベルを使用した畑づくりからミニトマトの苗の定植までの作業を体験しました。

子どもたちは熱心に部員達の説明を聞き入れながら楽しそうに作業を行い、ミニトマトの定植を終えた児童が「この場所は僕が植えたミニトマト」、「いや、私がお水をあげたミニトマト」などの争奪戦が行われるほど、ミニトマトに興味を示し、これから大切に育ててくれることを確認出来る一場面が印象的でした。ミニトマト産地ならではの取り組みにより、地域一体となった産地づくりPRを行いました。



山手小学校での食育出前授業の風景

地酒「海桜丸」誕生

新ひだか町静内地域交流センターにてお披露目される

7月1日、来場者、関係者を含め約100名が集まる中、新ひだか町地酒づくり協議会主催の元、会長 佐藤雅裕さんの挨拶で、純米吟醸酒 海桜丸がお披露目されました。海桜丸は、静内稲作振興会（会長 村田信治さん）での良質な馬糞堆肥を使用したお米の栽培環境と良食味米生産技術を活かし、地元の産品としてお米に関わる商品を地元の関係団体と創れないかとの想いで誕生しました。

酒米作付け農家の榎豊穂、代表 日蔭由昭さんは「皆様からお預かりしているお米であり、失敗は許されない。静内のブランド米である万馬券同様、高品質なものを目指し、責任をもって作りました。これから海桜丸が地元を愛され、町民の皆様と一緒に創り上げていく特産品となってもういたい。」との想いを語って頂きました。

海桜丸は四合瓶（720㍓）、1800円でAコープ静内店にて販売しております。是非ご賞味ください。また、限定商品も今後販売予定となっておりますのでお楽しみに。

